

## 令和3年度 第1回 富谷市総合計画審議会 会議録

日 時：令和3年11月2日（火） 午後3時から午後4時まで

場 所：富谷市役所 3階 305会議室

参加者：富谷市総合計画審議会 出席委員13名

：富谷市6名

：事務局4名

：オブザーバー（富谷第二中学校生徒）2名

### 1 開会（司会：企画部長）

### 2 市長挨拶（若生市長）

本日は、大変お忙しいところ、令和3年度第1回富谷市総合計画審議会にご出席をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。また、審議会の委員としてご就任を賜りましたことに、改めて心からお礼を申し上げます。今回、宮城大学の安齋先生、松田さんと村上さんが新たにこの審議会委員として加わっていただきました。他の委員の皆様方は、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、今回新たに富谷の中学生を代表して、オブザーバーという参加の立場でございますが、富谷第二中学校の渡部源貴さんと、藤原和鼓さんにご参加をいただきました。本当にありがとうございます。富谷市は、平成30年に子どもにやさしいまちづくり宣言を行っております。11月20日が世界こどもの日ということで、毎年その日に合わせて、直接市政に子どもの声を反映させるように、市内の小学校の代表の皆さんからご意見をいただく、「わくわく子どもミーティング」を開催してまいりました。この総合計画審議会というのは、最上位の審議会でもございまして、その審議会に、子どもにやさしいまちづくり、子どもの権利をしっかりと市政に反映させるということを旗印に掲げている本市において、子どもの代表が参加してないのは、おかしいのではないかということで、今回はオブザーバーという形で富谷第二中学校の生徒会の正副会長のお二人に代表でご参加をいただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

おかげさまで、富谷市は先月10月10日で市制施行5周年を迎えることができました。この5年間、特に大きな事故、トラブル等もなく市政運営を行ってこられたのも、本日ご出席をいただいている各委員の皆様方のご指導・ご支援の賜物でございます。富谷市が平成28年の10月10日に新たに市制施行を迎えるにあたりまして、市になることが目的ではなく、大切なことはどのような市を作るかだということで、市民の皆さんの声を伺うためにアンケート調査にご協力をいただき、または懇談会等を通して、目指すところは「住みたくなるまち日本一」というのを掲げ、総合計画を策定して、5年間の前期基本計画が終わって、今年度から後期基本計画がスタートしたところです。

5年間の取組が、民間の調査機関の調査で「住みよさランキング」または「住みこちランキング」、「住み続けたいまちランキング」で見事に県内はもとより、東北一という評価をいただいたところでもございます。目指すところは、日本一ということで、これからも頑張っていきたいと思っております。

今日の審議内容は、第1次富谷市地方創生総合戦略の効果検証に関して、皆様からご意見をいただければと思っております。総合戦略と総合計画は、両輪のごとく進めてきたところでございますので、忌憚のないご意見を賜ればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 委員委嘱

(委嘱状交付)

(新委員自己紹介)

### 4 市政運営報告

※「資料1 富谷市市政運営について」により市長が市政運営を説明。

### 5 議事

#### (1) 会長の選任について

互選により、会長に風見委員が就く。

#### (会長あいさつ)

皆様のご推薦によりまして、富谷市総合計画審議会会長を拝命いたしました、宮城大学の風見でございます。今日は第1回目ということです。新たな委員も加わっていただきまして、引き続き、この総合計画審議会で活発な議論ができますことを大変楽しみにしております。

先ほど、市長から大変詳細にわたる市政の現状を報告いただきまして、改めて、富谷市がいかに素晴らしい都市かということを確認したところであります。先ほどもありましたように、住みたくなるまち、住み続けたくなるまち、大変良い言葉ですが、これはまさしく、都市づくりをしている専門家も含めて、住民の方々が一番誇りに思える言葉ではないかと思えます。

今、時代が大きく変わってきておりまして、総合計画の6ページに書いてありますが、21世紀は、SDGs、持続可能な発展社会をどう実現するかということが大きな課題になっております。サステイナブルという意味は、今日は中学生のお二人がいらっしゃいますが、まさに未来への継承ということです。我々の時代だけで資源やエネルギーを使うことなく、次世代が豊かに暮らせるために、我々がどういう社会を作っていくかという意味で、こうして富谷市の中学生のお二方がおいでになって、未来を支えていく皆さんと一緒に議事ができるというのは大変嬉しく思います。SDGsというのは17のゴールがあるわけですが、その中でとても大事なものは17番目のパートナーシップであり、また、シティプライドとよく言いますが、地域に誇りを持って暮らしていくということだろうと思えます。

したがって、住みやすいまち、住みたくなるまちというのは、市民が誇りに思うまちということだろうと思えますし、この富谷市が大変美しい自然に囲まれた美しい住宅地であるということから、ちょうど6ページにも田園都市構想と書かせていただいておりますが、私も長年、田園都市を研究してまいりましたが、まさに富谷市こそ田園都市を実現するのにふさわしいまちであろうと思えます。

我々にとっても持続可能な社会を作っていくために、この美しい自然、そして暮らし、産業というものを改めて10年、100年の単位で考えていくのが、この総合計画審議会ということでございます。それぞれのお立場の中から積極的なご発言をいただき、未来に向けた良い計画にできるように願っておりますので、本日は短い時間でございますが、活発なご議論をよろしくお願ひしたいと思います。

※ここから、会長が議長となり議事が進行された。

※会長の指名により、職務代理者に佐々木委員が就く。

## (2) 第1次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証について

### (風見会長)

それでは、議事の(2)第1次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証について、事務局から一括で説明をお願いしたいと思います。

### (事務局)

今回の審議会におきましては、平成27年に策定をいたしました第1次富谷市地方創生総合戦略が令和2年度をもちまして計画期間が終了しましたことから、これまでの取組状況を説明し、ご意見をいただくものでございます。それでは資料2を使ってご説明いたします。

### ※資料2「第1次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証」により進捗の報告

### (事務局)

以上が、第1次地方創生総合戦略の取組状況でございますが、市といたしましては、先ほどの自治体ランキングでも高い評価を受けているということもありまして、大きな成果を上げていると捉えております。今後も第2次地方創生総合戦略におきまして、地方創生の取組を進めてまいりたいと考えております。

なお、お配りしております資料の3、4については、只今の資料を表としてまとめたものでございます。資料5につきましては、令和2年度で終わりました第1次地方創生総合戦略の本編でございます。資料6は、昨年度皆様からもご意見を頂戴して策定し、4月からスタートしている第2次となる地方創生総合戦略でございます。こちらにつきましては、後ほどご高覧をいただければと思います。

### (風見会長)

ご説明ありましたように、この地方創生総合戦略は、大変順調に数字をあげておられるということがよく分かりました。特に食、スイーツであるとか、エネルギー産業、教育、交通、福祉、コミュニティなど様々な観点から、目標を立てられて、実績を上げられたということだと思います。それでは、ご説明に対しまして皆様のご質問ご意見と賜りたいと思います。

### (石井委員)

今日、ここに来る前に新町を通過してまいりました。「とみやど」は火曜日でお休みでしたが、新町近辺は変わったなという感じが非常にしています。我々がこの審議会でも評価するよりも、先ほど市長がおっしゃった自治体評価ランキングは、やはり驚異的だと思っています。いわゆる鉄道路線の駅がないまちで、これだけ高い評価ということが考えられなくて、なぜだろうと考えると、先ほど会長も田園都市のお話をされていましたが、住環境とそれを取り巻く田園や農業があるという部分かと思っています。

一点だけ教えて欲しかったのですが、富谷塾が4期生も180人という話がありましたが、これもちょっと驚いていて、私は仙台でいろいろ起業関係のお手伝いもしていますが、なかなかこんな数は集まらないわけです。ひとつはどういった方々が来ているのかと、あとはこの方々が卒業後にどんな感じになっているのかというのをご教示いただければと思います。

### (市長)

お褒めの言葉をいただきまして、ありがとうございます。

富谷塾につきましては、「TOMI+」オープンに合わせて、人が集うためにということで起業塾として呼びかけました。当初20人集まればと思ってスタートしましたら、初年度75名でございましたが、驚いたのは、そのうちの6割以上が子育て中の女性ということでした。これは富谷の可能性の大きな力だと思っております。富谷には大変素晴らしいキャリアを持たれている方々がたくさんいて、ご結婚されて子育て中なので、今はまずはそこに専念しようと家にいるけれども、何かやりたいと思っている方々が、参加してみようかなということで、何人かがお子さんを連れて参加していました。子どもを連れてきても大丈夫だというのが、クチコミで広がって、人が増えました。富谷塾の最初の段階は、そこが大きな発信力になったのではないかと思います。

2期生175名、3期生270名、ただ3期生の270名は、あまりに増えたのと、コロナ禍の影響もあり、塾の活動もなかなかできずに、消化不良状態を起こしてしまったなと思っております。

今、4期生については、入塾する段階で一人ひとりにコンシェルジュが、どういう思いで、何を期待して、富谷塾に参加するのか、ヒアリングをしっかりと行ってから、その思いをある程度段階的に分けて、それに合わせたプログラムを用意して活動を行っているところです。今も6割以上は女性、特に子育て中のママたちが多いというのが富谷塾の大きな特徴だと思っております。

### (風見会長)

お話がありましたように、富谷市が、なぜそれだけ人気があるかということですが、私が専門的に見ると、やはり自然環境と都市機能がいかに融合するかというのが都市計画の原点で、それを実現していくというのが、最も大切なのですが、その中でも都市機能のひとつとして、文化がとても重要で、今回、「とみやど」という歴史を生かした拠点ことができましたけれども、そういう意味では自然が豊かで、都市機能が整備されていて、文化があれば、そういうところに皆さんが住みたくなるのではないのでしょうか。しっかりと取り組んできた市の姿勢が評価されているのではないかなと思いますので、ますます自然の豊かさを守るとともに、文化や産業、教育もしっかりと作られていければと思います。ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

### (佐々木委員)

総合戦略の基本目標3で、子ども達を育てる環境とありますが、市民協働・市民参加という意味では、学生の参加というのも非常に重要になってくると思います。そういう中で、中学生や高校生をどのように市政に参加させる、あるいは参加してもらおうかというビジョンがありましたら、お話いただきたいです。

### (事務局)

ありがとうございます。富谷市におきましては、「子どもにやさしいまちづくり」を進めているところでございます。ユニセフの「子どもにやさしいまちづくり」の検証自治体として、これまで取り組んでおりまして、その中で、市政の計画を策定する場合に、子どもが参画できる仕組みですとか、子どもの人権を尊重した取組ですとか、そういった仕組みを具体的に行政側でも作りましょうという目標があります。それにつきまして、今年から実践をしているところでございます。これからという部分もありますが、中学生も含めた子どもたちが意見を出し合って、市政

に反映するという取組を進めていければと考えております。

また、「わくわくミーティング」におきまして、小学生から富谷のまちづくりについて、ご意見をいただくという機会も設けておりますので、そういった取組を通しながら、子どもたちの参画というものも、今後取り組んで参りたいと考えております。

#### (市長)

ひとつ補足させていただきますと、委員からお話のありました中学生ということですが、ここには記載されていませんが、富谷の特徴で、中学生の段階で国際性を磨きましようということで、海外派遣事業を行っております。コロナ禍の影響で昨年、今年と実施できず、残念なのですが、大変効果的な取組となっております。はじめはこちらから行くだけでしたが、現在では発展して、台湾の中学校と相互交流をしております。コロナの状況にもよりますが、来年からまた継続していきたいと思っております。

#### (風見会長)

ありがとうございました。本当に総合計画審議会にいろいろ出ておりますけど、中学生に同席いただいているのは初めてのケースです。大変嬉しく思います。時間も迫ってきています。もうおひとりぐらいで。

#### (増田委員)

今の質問に対してですが、ユニセフで「子どもにやさしいまちづくり」に取り組んでいるということでしたが、全ての学校・幼稚園がユネスコスクールに登録しておりますので、その後を追いかけるように、「富谷ユネスコ協会」が設立されました。スクールに登録してから、その後に協会ができたというのは全国初だと聞いております。私たち一般の市民が会員、理事になっているのですが、ユネスコスクールの支援というのを大きな柱にしておりまして、ちょうど今日いらしていますが、先日、あけの平小学校に行って、子どもたちと楽しく交流をさせていただきました。校長先生からも後ほど、お話をいただきたいと思いますが、ユネスコ協会では、中学校では防災を柱にして、協会から講師を派遣してお話しさせていただき、地域と中学生をつなぐ取組、そして、私たち市民が中学校や小学校に行って、つながる取組というのをしておりますので、富谷市は多方面から子どもたちと地域がつながるような動きになっているのではないかなと感じております。校長先生からも先日のご感想をいただければと思います。

#### (小澤委員)

ユネスコ協会からご支援をいただいた、あけの平小学校校長でございます。ユネスコスクールに加盟しているということで、様々な持続可能な開発のための教育ということで取り組んでおりますが、今回は、環境教育とエコ活動の一環として、新聞紙を再利用したエコバッグ作りをご指導いただき、子どもたちは本当に楽しく活動していただき、使わなくなった新聞紙がこんな素敵なバッグになるんだということと一緒に学ばせていただきました。

ちょっと加えさせていただきますと、教育について、本当に大切にされている富谷市に勤めさせていただいていることにありがたく思っております。初めて富谷市に参りました時に、このユネスコスクール、持続可能な教育だけではなく、図書館教育も充実しておりましたし、協働教育、つなぐ取組

というものも非常にシステマティックに行われて活性化していること、そして、学び合い、学びの共同体という教育の取組、子どもたちの情操教育に大きく貢献しているマーチング活動であるとか、昨今は ICT の推進も非常に他市町村に先駆けて充実していただいて、子どもたちの教育の充実が図られていることに感謝しているところでございます。

ここにもありますとおり、平和・異文化理解などがありますが、やはり子どもたちの多様性の理解ということを進めたいと思っております。例えば発達障害の子どもたち、発達障害は全国調査では 6.5%と言われておりますが、性的なマイノリティーの方の調査結果は 8.9%と言われ、発達障害よりもパーセンテージとしては高くなっています。そうしたことを我々教員がしっかりと理解をして、差別・偏見のない社会を作っていくためには、教育が非常に大きな鍵を握っており、我々の責任は重大であると考えております。市には体制を整えていただいているところなので、我々教員が研修などをおして資質向上を図り、子どもたちにしっかりと還元していけるような学校経営というのを、しっかりと取り組んでいきたいと思っております。

#### (風見会長)

ありがとうございました。まさにオール富谷というのは、一番大事なテーマでもありますので、市民の皆さんの活動から環境教育も含めて、これから多様な取組がなされると思いますが、ぜひ力を合わせていければと思います。

大変申し訳ありませんが、約束の時間が 16 時ということでございますので、まだまだ皆さん活発なご意見があろうかと思いますが、この場だけではなくて、事務局の方にお寄せいただければと思います。

今日、中学生のお二人においでいただいておりますので、緊張するかもしれませんが、感想でも結構ですので、一言ご発言いただければと思いますがいかがでしょうか。

#### (渡部さん)

本日はこのような会議に参加して参加させていただきありがとうございました。とても貴重な経験になりました。これから富谷市がどのようにもっと良い町になるのか楽しみで仕方ありません。これから富谷の一人の市民として中学生として富谷に貢献できるように頑張っていきたいと思っております。本日はありがとうございました。

#### (藤原さん)

このような会に参加させていただくことは、本当に貴重なことだと思いますし、一人の富谷市の中学生として、これからの富谷市のまちづくりを知ることができて本当に嬉しく思います。私も一人の富谷市民として、さらにより良いまちづくりに貢献できるように頑張っていきたいと思っております。本日は短い間でしたがありがとうございました。

## 6. 閉会

以上